

○…「木材は脱炭素社会のキーパーツとなる商品。社員には、地球環境に優しい商品を取り扱っていると自負を持ってほしい」と話すのは、住宅向け木材や、産業資材の加工販売などを手掛ける名古屋木材(本社名古屋市中川区)社長の丹羽耕太郎さん。このほど、組織変更を実施。営業本部を「木質炭素固定事業本部」に改称。また、新築住宅への木材供給を拡大するため、事業部を再編した。「二酸化炭素(CO₂)の排出量をゼロにすることは不可能だが、CO₂を吸収する木材を利用することで、排出量の削減は達成できる」と説明する。

○…国内人口の減少、大

木材供給で脱炭素に貢献



工、職人の人手不足などで、日本の新設住宅着工戸数は減少傾向にある。名古屋木材は、建築現場、工務店への木材、建材の供給を手掛けている。「事業部の再編で、木材商品の加工能力を引き上げる。従来はパーツごとに供給していた商品を、一部組み立てた状態で供給するなど、建築現場の省人化に貢献できる商品を充実させたい」と語る。



2023年(令和5年)

6月9日
金曜日